

## 1 月度土曜例会 (January 17, 2015)

今年最初のゲストは、大阪大学で International Public Policy を勉強中の Mr Gaurav Dutta (Assam, India) さん。日本語風に読むと“ガウラブ・ダッタ”さんです。3年前にも上智大学で2ヶ月間、交換留学生として来日されました。タイトルは、Diversity of India。インドと言われて私たちがまず思い浮かべるのは、タージマハル、ガンジス川、仏教、ベジタリアン…と様々ですが、お話を聞いてびっくり！インドは私たちの想像以上に多様性の坩堝です。



### 公用語

インドの公用語は英語とヒンディ語だが、その他 29 の言語が公用語となっている。学校教育や公文書など全て英語、ヒンディ、更に各州の言語を使っている。

因みに、挨拶の言葉はヒンディ語で Namaste (ナマステ)、Dutta さんの母国語、アッサム語では Nomoskar (ノモスカル)。

### 来日して驚いたこと

- ①温泉：最初は恥ずかしかったが、あとで慣れた。
- ②横断歩道：交差点で、日本人は信号を守って渡る。日本人は法律をきっちり守っている！
- ③電車：居眠りしている人が、なぜ駅に着いたら飛び起きて、ちゃんと降りられる？



### 教育制度

- Lower Kindergarten (Age 4)
- Upper Kindergarten (Age 5)
- Primary School: Class 1-7 (Age 6-12)
- Higher Secondary School: Class 8-10 (Age 13-14)
- Pre-University: Class 11&12 (Age 15-16) : この2年間は、Liberal Arts、Commerce、Science の3分野から1つを選んで勉強する。
- Bachelors (University): 3/4 years : インドの大学は普通3年間。engineering、medical等は4年間。Dutta さん出身のデリー大学も3年間だった。
- Masters (University): 2 years  
Dutta さんは、その後の Master of philosophy (博士課程の予備コース) も修了。

### お祭り

インドには各州、地方に種々の祭りがあるが、全国的に行われるのは、以下の2つ。

\* Diwali: festival of lights

元々 clean your spirit の意味で、花火を上げて祝うヒンドゥー教の秋の祭り。10月末～11月初



め。お菓子をあげたり、服を購入したりする。問題は、あちこちで花火やクラッカーを鳴らすので、街中が煙だらけになること。

\*Holi: festival of colors

Spring brings in new color to life. 3月に春の到来を祝う祭り。顔に色粉を塗ったり、かけあったり…中には1週間も顔が色に染まったままの人も！

[左：Diwaliの花火][下：Holi。色粉を一斉に投げている]

## スポーツ

クリケットが最も人気。wicket（ウィケット：三柱門）の後ろには wicketkeeper（捕手）がいて、bowler（投手）が球を投げ、batsman（打者）が打つ。バットの形も野球とは違う、イギリス発祥のスポーツ。



## 食べ物

インドの印象はベジタリアンということだが、実際はインド国民の約45%がベジタリアン（ジャイナ教の人は皆ベジタリアン）。豚肉や鶏肉はOKだが、一般に牛肉は食べない。（Duttaさんは食べる！）というのは、牛は農業に欠かせない動物で、昔から神聖な生き物と見なされているから。

## 民族

Duttaさんは何人かの写真も見せてくれました。写真を見て、インド人、マレーシア人、ネパール人、ロシア人、中国人等々、皆さん色々と回答しましたが、なんと全てインド人。中には日本人そっくりの人も。大きくは、南方の色黒のドラヴィダ系、北方の白人系のアーリア系、東方のモンゴロイド系に分かれます。

## 言語

### ①インド語派（北部）

インド・ヨーロッパ語族に属し、サンスクリット語等と共に、今のインド語派が生まれた。

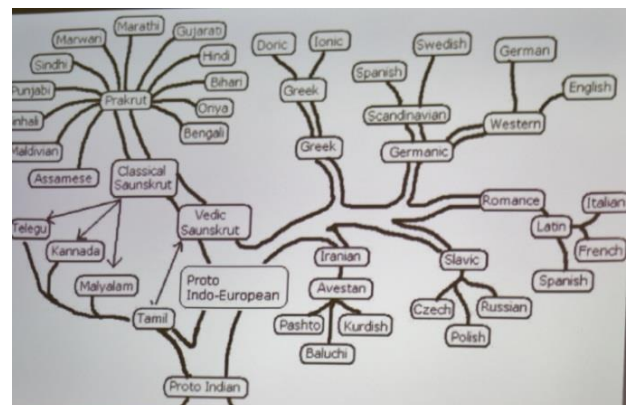
### ②ドラヴィダ語派（南部）

ドラヴィダ語族という別の言語に属し、インド語族と共に世界で最も古い言語の1つである。

### ③チベット・ビルマ語派（北東）

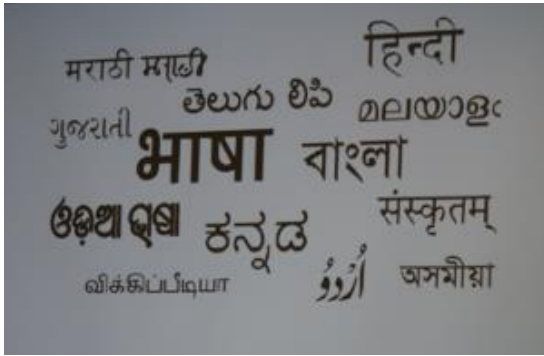
アッサム州の辺りで話される。

以上、大きく3つの語族に分かれる。



## 文字

1. インダス文字…インダス文明の時に使われた象形文字。未だ解読されていない。
2. その後、ブラーフミー文字が発達（現在は使われていない）。
3. 更に、グプタ文字、Siddham 文字（梵字。中国を経て、空海が真言密教と共に日本へもたらした）、ナーガリー文字等に発展。ドラヴィダ語族の文字は、インドネシア、タイ、マレーシ



アなど東南アジアへと広がっていった。  
 [写真左：様々な言語]  
 [写真右：100 ルピー札の左端。15 の言語で書かれている。]



以下、質問タイムから；  
 ☆文字は、左から右に書くのですか？  
 →英語と同様、左から右。

☆インドにマクドナルドはある？→Yes.インドで人気。ビーフバーガーはなく、チキンバーガー、ベジタリアンにはポテトバーガーがある。KFC も人気があり、ベジタリアン用のメニューがある。スターバックスは去年進出してきたばかりで、あまり人気はない。インドのコーヒーチェーン店 CCD (cafe coffee day) の方が人気。

☆コーヒーと紅茶では、どちらが人気？→紅茶。牛乳を入れてチャイにする。

☆インドのカレーについてお話を！→カレーも種類は様々。カシミール地方のカレーは独特。日本には入ってきていないと思う。日本には、インド北部のオイルや香辛料を多く使ったチキンカレー等が多い。アッサムのカレーはもっとあっさりしている。南部のカレーは全く違う。

☆日本でインドカレーを食べる時はナンを食べるが？→ナンやチャパティを食べるのはインド北部。北東部、南部では米を食べる。ナンは元々アフガニスタンから来た。アフガニスタンのナンはかなり大きい（両手を広げたくらい？）。

☆マドラスからチェンナイ、カルカッタからコルカタ、ボンベイからムンバイのように、インドの都市名はよく変わるが、何故？→Madras、Calcutta、Bombay は全て英語。イギリスから独立して 50 年になるが、英語表記はまだ多い。インドの言葉に直したかった。

ところで、インドの非暴力の考えは、アショカ王の時代に遡る。仏教の教えも、共にインド全土に広まったが、仏教の戒律は厳しく、インドにはあまり浸透しなかった。

☆マザーテレサに会ったことは？→彼女は旧ユーゴスラビア出身で、カルカッタに在住。私が中学生の時に亡くなったので、会ったことはない。

ガンディーは Gujarat 州出身。南アフリカで弁護士をしていた時、電車の一等車から追い出されるなど人種差別を体験し、イギリスと戦うことを決意。インド各地を回って運動を始めた。当時のイギリス帝国と対抗できるのは武器ではなく、非暴力、不服従を唱えた。

☆インドは IT に強いが、IT 分野の勉強はされましたか？→私自身は IT の勉強はしていないが、IT の勉強をする人は多い。仕事も得やすく、私の親戚にも何人かおり、IT の中心地 Bangalore で働く人は多い。大学で IT 専門のコースを選択する必要があるが、欧米に行く人も多い。

☆カースト制度は？→今も大きな問題である。特に北部では強く残っている。私の州では、それほどでもない。インドでは、都市と田舎の貧富の差が大きい。田舎では教育・生活レベルが低く、大きな社会問題となっている。

☆ダウリー（新婦側が渡す結婚持参金）制度は？自殺も聞いたことがあるが？→ダウリーは今も残っている。私の州ではあまりないが家庭によって違う。教養のある家庭や都市部では少ないが、田舎ではまだ多い。インドでは恋愛結婚はまだ少ない。親の反対があれば、ふつう結婚できない。違う地方出身の者同士が結婚するのは、文化や言葉、食べ物等が違うので、外国人と結婚するようなもの。都市部や若い世代では、変化しつつあるが。

一方で、Meghalaya 州（世界でも有数の多雨地域）は母系社会であり、女性が働きに出ている。

☆Dutta さんの結婚相手は？→私自身が選んだ人と結婚したい。

☆カースト制度は法律上は？→憲法で禁止されている。だが実社会で差別は存在する。私がニューデリーで家を探していたとき、どのカーストに属すのかを聞かれたこともある。

☆カーストは変えられる？隠せる？→カーストは生まれながらに決まるので、変えられない。だから、下部カーストの人々には、平等を唱えるキリスト教に改宗する人も多い。

カースト最下位の人々をアンタッチャブルと呼ぶが、彼らは **dirty work**、**hard work** を行う奴隷と同じ。現在様々な NGO も活動しており、差別は減りつつある。

Haryana 州では、ダウリーの問題から女兒が生まれると殺すことも。Uttar Pradesh 州の人口はブラジルより多い。Kerala 州の識字率はほぼ 99%、Tamil Nadu 州も教育に力を入れており、NASA の科学者も多く輩出、チェスの世界チャンピオンもいる。

☆教育は男女平等？→教育の機会は男女平等に与えられている。識字率は州によって違う。

Punjab 州は豊かな農民が多く、Assam 州では教育は義務で重要視される。私も結婚しても女性は働く方が良いと思う。日本では、結婚して子供が生まれると、女性は仕事を辞めてしまうのでは？

☆第二次大戦中、日本はインドの独立に貢献した？イギリスとインドの関係は？→東京裁判で唯一、日本の無罪を主張したインドの裁判官ラダ・ビノード・パール（彼の肖像が靖国神社にある）は、欧米の帝国主義、植民地主義を批判していた。ベンガル州出身のスバス・チャンドラ・ボースも第二次大戦中、インド独立のため、日本軍と共にイギリス相手に戦った。だがガンディーは、戦うことには反対、非暴力を訴えていた。インド人に、日本人のネガティブなイメージはない。スズキはインド最大の企業であり、トヨタ、日産、ホンダ等、その他時計、カメラ…経済的イメージが強い。

Arunachal Pradesh 州は 1962 年、中国との国境紛争があった。政治的にはインド領地であるが、中国はこれを認めていない。

☆インド人は計算に強いと聞くが？→私自身、数学は苦手。

☆日本で PhD を取得後、インドに帰国されたら、どのようなリーダーになりたい？→おそらく大学の教授？国際公共政策が私の専門であり、日本の安全保障や憲法 9 条の解釈について研究しているので、それについて教えたい。また、インドで日本語に堪能な人（日本語検定 1 級レベル）は多いが、彼らの多くは日本を知らないので、日本の文化、歴史、社会経済等を教えたい。また日本だけでなく、他のアジア諸国との共存は今後の重要な課題だと思う。

☆インドに数十年来の友達が何人かいる。また最近、姪が Nagaland 出身のインド人と結婚した。彼は中国人のような顔立ち。3 人の子供がいるが、日本から彼の家に行くのに 2～3 日かかるらしい。→Interesting!! 最近では日本人と結婚するインド人が増えている。大阪から Nagaland

に行くには、関西空港→カルカッタ空港→ディマプル空港に行き、そこから車？なので、かなり時間がかかる。

以上で時間切れとなりました。まだまだお話を伺いたところですが。来月 7 日には阪大 PhD の入学試験があるとのこと。頑張ってください。お忙しい中どうもありがとうございました。

